新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

■２面　女性ニュース／国会スポット　■３面　読者のページ／まんが／乱楽　■４～５面　こども家庭庁とは／はたらくコラム／ホットライン　■６面　食事情／子育て相談／時事　■７面　新婦人のページ／主張／母の歴史

岐阜・養老町　山口清江

新日本婦人の会は国連に認証されたＮＧＯです

ロシア軍は即時撤退を

女性は戦争を許さない！

「戦争やめよ」の声が世界中で高まるなか、ロシアの侵略が続くウクライナでは、住宅地や病院などへの爆撃による甚大な被害が。女性たちの声をさらに大きくひろげるときです。（関連２、６、７面）

戦争の答えは破滅しかない

作家・九条の会呼びかけ人　澤地久枝

ロシア政府は、とにかくすぐに武力行為をやめることです。その後に、人びとには話し合いという手段があるではないですか。人はいずれ命を終えますが、それは人生を生きたうえでのことです。一人ひとりのかけがえのない命が不本意に奪われる、それがどれほど大きな悲しみの広がりを持つか、プーチン大統領にはしっかりと考えてもらいたいと思います。

ロシアの国内でも、次の瞬間につかまるかもしれない、社会的権利、人権を奪われている状況のなかで、大変な勇気をもって戦争反対だと声をあげる人たちがいます。ロシアを憎むのではなく、戦争を起こした人たち、戦争行為というものに対して私は心から反対です。戦争の答えは破滅しかない。戦争放棄をうたった日本国憲法を変える必要はありません。

殺して訪れる平和などない

認定NPO法人Dialogue for People副代表／フォトジャーナリスト　安田菜津紀

「戦争がはじまるとね、僕たちはチェスの駒なんだ。チェスは駒ばかりが傷ついていく。駒を動かす人は決して、傷つかない」。何度も避難生活を送ってきた、イラクの友人の言葉が思い出されます。ウクライナで傷つき、故郷から追いやられてしまう市民も、「国のために戦え」と命じられるロシア兵たちも、「チェスの駒」ではありません。今こそ、血の通った人間の話をしていかなければならないはずです。殺して訪れる平和などありません。一分一秒でも早く、武力侵攻の停止を。そして、破壊されてしまった街へと戻るのは、容易なことではありません。逃れてくる人々が安心して生活を取り戻せる受け皿を、日本からも築いていきましょう。

核共有より核禁止

核政策を知りたい広島若者有権者の会・略称「カクワカ広島」　田中美穂

プーチン大統領が核兵器の使用をほのめかす発言をし、恐ろしい事態が現実になってしまったと恐怖を感じています。今回の事態に乗じて「核共有」や非核三原則の再考について議論を進めようという国会議員の発言が起こったことに対して抗議の声明を出しました。私たちは被爆者の体験を聞き、核の使用だけはさせてはならないという被爆者の思いとともに活動してきたので、今こそ、核共有ではなく、核を禁止するための議論をするべきだと思います。核は二度と使わせない、そのために私たちができるのは「伝え続けること」です。ヒロシマ・ナガサキで起きた出来事は昔習った歴史ではなく、実際に起こったことで、今も起こりうること。違う考えの人との議論も必要になってくるでしょう。対話の場もつくりながら発信し続けます。

愚かな戦争、今すぐやめて！

音楽評論家・作詞家　湯川れい子

怒られてもいい。笑われてもいい。いつも戦争を始めるのは男です。戦争すると決めて、正義の名のもとに若いオスを狩り集めて、偉そうに殺し合いを命じる。

女が産んで、20年以上もお金と時間と愛情を注いで育てた子どもたちに、同じ人間が産んだ子どもたちとの殺し合いを平気でさせる。こんな愚かな行為を、なぜ人間だけが1万2000年も続けて恥じないのか？

今度ばかりは、もう取り返しのつかない事になりそうで怖いし、口惜しくて悲しくてたまりません。

ねえ、本当に今すぐやめて!! どうして人間の男たちだけが、ここまで馬鹿なの？　馬や鹿に対しても申し訳ないし、恥ずかしい。

新婦人各地で

京都

大阪

子どもたちと一緒に（愛知）

支援募金（千葉）

ウクライナカラー（東京）

屋外で署名を（山梨）

地元テレビに（島根）

窓に（神奈川）

国道沿いでアピール（和歌山）

雪のなかスタンディング（山形）

発行所　新日本婦人の会　New Japan Women's Association
〒112―0002 東京都文京区小石川5-10-20　電話03（3814）9141（代）
編集部 03（5805）2370／ Fax 03（5805）2372　振替00150-7-74582　１部105円　月410円（いずれも税込み、送料別）、会員は会費に含む
http://www.shinfujin.gr.jp ©新日本婦人の会2022年